

東筑高校に続き、Z世代課が行政改革の甲子園へ！

全国初のZ世代課が
「行革甲子園 2026」ファイナリストに選出

北九州市が取り組む「Z世代課」による若者との共創モデルが、愛媛県主催の「行革甲子園2026」において、全国89事例の中から6つのファイナリストに選出されました。

来る8月28日(金)、行政のあり方をアップデートする若者の視点とエネルギーを全国の自治体へ発信し、グランプリを目指す公開プレゼンテーションに臨みます。

ぜひ、取材方よろしくお願いいたします。

記

1 行革甲子園とは

市区町村の創意工夫あふれる取組を発表・表彰する、愛媛県主催の大会です。

本年度は、31都道府県の79市区町から89事例の応募があり、書類選考を通過した6自治体が公開プレゼンテーションを行い、グランプリを決定します。

<事例発表団体(6団体)>

自治体名	取組事例名
宮城県利府町	全国初！水の官民連携レベル 3.5 による上下水道事業包括的民間委託
福井県福井市	「強制しない」が成果を生む、ナッジを活用した行政改革
長野県塩尻市	「教育委員会が学校へ引っ越し！？」現場の心に火をつける学校の働き方改革
愛媛県宇和島市	地域の持続可能性の確保に向けた郵便局の利活用推進事業（郵便局におけるオンライン診療・服薬指導事業）
熊本県山鹿市	事務処理特例制度でルールを変えよう！！ ～失敗もひとつの成果、まずはやってみよう～
北九州市	若者を「支援対象」から「共創パートナー」へ — 全国初「Z世代課」が挑む、行政のアップデート —

2 「行革甲子園 2026」概要

- (1)日時 令和8年8月28日(金)12:30～17:00
- (2)場所 松山市民会館 中ホール(愛媛県松山市堀之内)
- (3)主催 愛媛県

※当日の様子は YouTube でライブ配信されます。

別途素材が必要な場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

3 北九州市Z世代課の発表内容

「若者を『支援対象』から『共創パートナー』へ」をテーマに、若者とともに企画・実装する新しい行政モデルについて発表します。

全国初「Z世代課」の設置背景や、若者の視点を行政や地域社会へ実装してきた具体的な取組等を紹介し、激変する時代における「新たな行政のあり方」を全国へ発信します(詳細は別紙のとおり)。

4 担当者意気込み

Z世代課は、若者を『支援する対象』ではなく、『共にまちをつくるパートナー』として位置づけ、若者と行政がともに考え、ともに挑戦するまちづくりを進めてきました。

今回の最終審査は、こうした北九州市の挑戦を全国へ発信できる貴重な機会です。発表を通じて、若者と行政が共創する新しい行政モデルの可能性を全国の自治体と共有するとともに、自治体同士が学び合い、連携しながら行政改革を進めるネットワークづくりにつなげたいと考えています。

北九州市は今後も、若者に学び、若者とともに歩むことで、「日本一若者を応援するまち」の実現と、その取組の全国への波及を目指していきます。

5 参考(行革甲子園2026特設サイト)

<https://g-koushien.com/>

※過去、行革甲子園 2024 において、本市の応募事例「ローコードツールを活用した全庁的な DX の推進」が最終選考 7 事例の一つに選ばれ、「職員全員の努力の賜物で賞」を受賞

Z世代課
特設サイト



<問い合わせ先>

政策局 Z世代課 担当：香月（課長）、内海（係長）

連絡先：093-582-2925